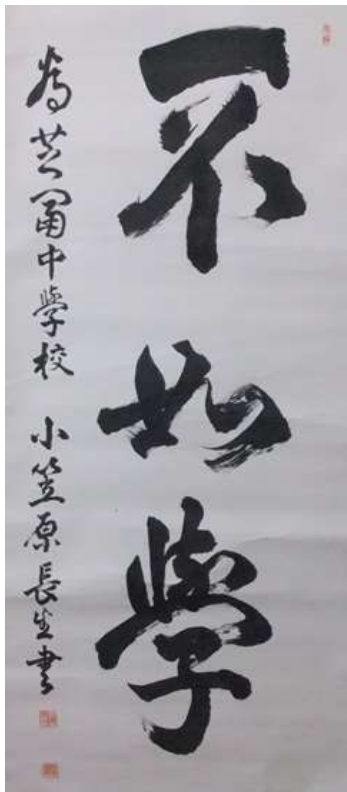


ながなり  
「文才提督」小笠原長生

まなぶにしかざるなり  
- 芝川中学校に伝わる掛軸「不如学」から -

まなぶにしかざるなり きごう ながなり  
「不如学」と揮毫した「小笠原長生」とはどのような人物  
だったのか、探ってみましょう。



小笠原長生は旧日本海軍の軍人（海軍中将）で、東郷平八郎に深く心酔し、東郷の私設副官と言われた人物です。持ち前の文才で東郷の伝記など、数多くの著書を残し、「文才提督」とも呼ばれました。教育者としても知られ、東郷とともに昭和天皇の皇太子時代の教育に携わりました。若い頃に清水次郎長を訪ねた逸話もあり、司馬遼太郎の『坂の上の雲』にも登場します。小笠原長生とはどのような人物だったのか、生涯を追って探ってみましょう。

小笠原長生(左)  
と東郷平八郎



期 日 令和3年10月15日（金）  
時 間 午後2時から4時まで  
場 所 富士宮市立中央図書館視聴覚ホール  
受講料 無 料  
対 象 市内在住・在勤の人  
定 員 15人（先着順）  
講 師 中尾 欣司（中央図書館職員）  
その他 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止する場合があります。また、ご来場の際は、マスク着用にご協力をお願いします。

申込み 令和3年9月25日（土）午前9時から  
ただし休館日を除く

富士宮市立中央図書館にて受付（電話可） ☎26-5062

主 催 富士宮市立中央図書館